



(共同リリース)



2023年10月25日
 天草エアライン株式会社
 オリエンタルエアブリッジ株式会社
 日本エアコミューター株式会社
 全日本空輸株式会社
 日本航空株式会社

地域航空サービスアライアンス協議会 (EAS Alliance) を設立

天草エアライン株式会社(本社：熊本県天草市、代表取締役社長：永岡 真、以下「AMX」)、オリエンタルエアブリッジ株式会社(本社：長崎県大村市、代表取締役社長：大人形 綱邦、以下「ORC」)、日本エアコミューター株式会社(本社：鹿児島県霧島市、代表取締役社長：武井 真剛、以下「JAC」)、全日本空輸株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：井上 慎一、以下「ANA」)、日本航空株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂 祐二、以下「JAL」)の5社は、本日、「地域航空サービスアライアンス協議会 (以下「EAS Alliance」)」を設立しました。

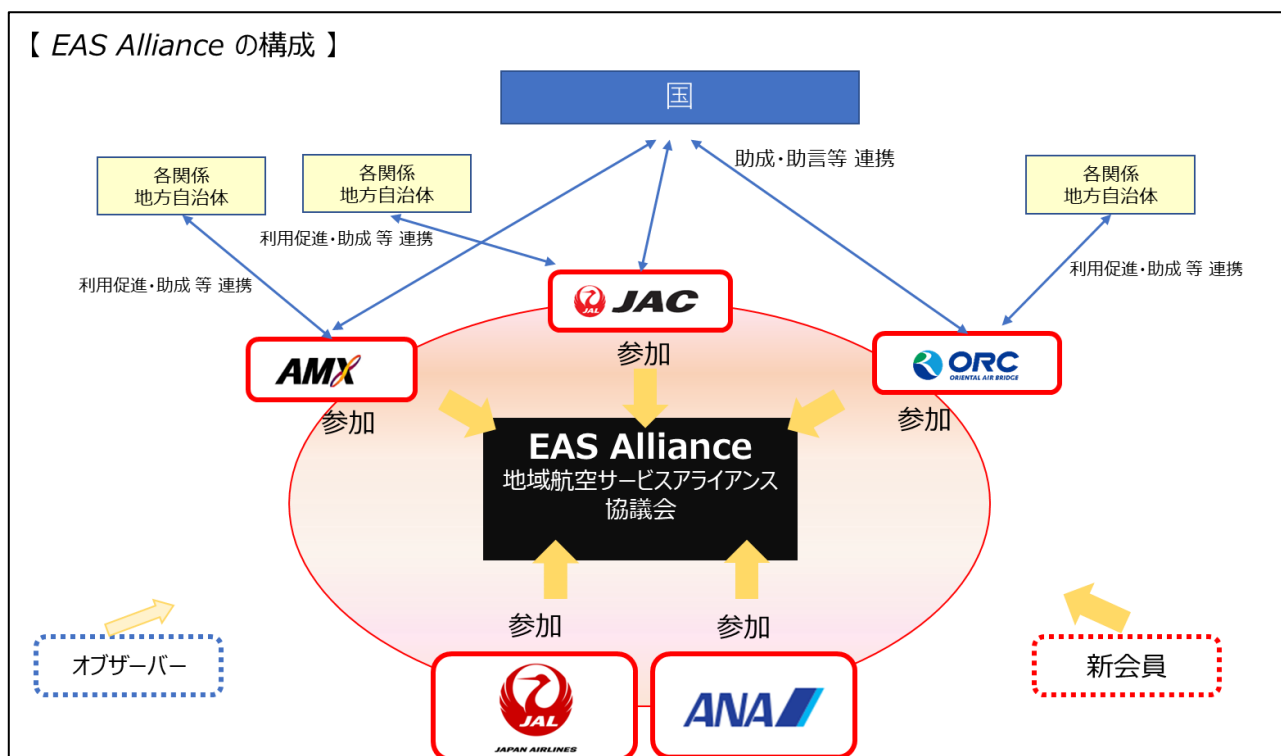
2019年10月にAMX,ORC,JAC,ANA,JALの5社は地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合(以下「EAS LLP」)を設立し活動を開始しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けながらも地域航空サービスの維持、発展に資する協業に取組み、「系列を超えたコードシェア」をはじめ「航空機予備部品の共用化」、「機材更新に伴う新造機導入支援」などさまざまな協業の成果^{*1}を得ることができました。 *1) 添付資料「EAS LLP 主な取組み内容」

EAS LLPの活動(契約期間：2019年10月25日～2023年10月24日)により築き上げた5社による取組みを礎として、協業体制の維持と深化をさらに推進するためEAS Allianceを新設し、引続き関係諸機関との連携を図りつつ、地域航空会社が担う離島および生活路線の維持、発展と就航地域の活性化を目指してまいります。

【EAS Alliance 概要】

名称	地域航空サービスアライアンス協議会 (英語表記：Essential Air Service Alliance、略記：EAS Alliance)
設立日	2023年10月25日
活動期間	2023年10月25日～2028年3月31日 (約4年間)
設立目的	会員が共同して協業の促進・深化を図り、離島や生活路線等の地域航空サービスを持続可能とする
活動概要	①同型プロペラ固定翼機種を運航する地域航空会社の協業促進業務 ②安全基盤の確立と安定運航確保のための技術協力の推進に関する業務 ③需要喚起に資する促進業務 ④管理業務の効率化を推進する業務 ⑤その他
会員	AMX,ORC,JAC,ANA,JAL ※協業可能な新会員(航空会社)加入可
アライアンス協議会の特徴例	・新規会員の参加を可能とし、テーマ毎に新たな協業検討をより迅速かつ柔軟に実施。 ・必要に応じ、オブザーブとして関係する法人・団体などの参加。 ・同一機種運航によるメリットを生かした協業の拡大。

【 EAS Alliance の構成 】



<報道機関お問い合わせ先>

天草エアライン株式会社 (AMX)

総務部 0969-57-6000

オリエンタルエアブリッジ株式会社 (ORC)

総務部 0957-53-6692

日本エアコミューター株式会社 (JAC)

総務部 0995-58-2151

全日本空輸株式会社 (ANA)

広報部 03-6735-1111

日本航空株式会社 (JAL)

広報部 03-5460-3105

EAS Alliance 協議会

事務局 070-4825-4872

以上

EAS LLP 主な取組み内容

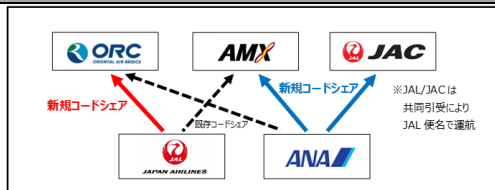
1. 全般 4年間の活動において大手航空会社のノウハウ、販売力、発信力も活かしつつ、地域航空会社間の協業の深化が図られ協業促進の基盤を構築。

2. 安全・技術分科会

取組み項目	概要
1.航空機材の統一/ORC への ATR 導入支援	ORC の ATR 導入に際し、JAC による技術協力を実施。AMX/JAC/ORC の 3 社全てに ATR が導入された。
2.運航規程類の類似化/運航乗務員の融通	JAC と AMX の航空機に関する運用規程の類似化および運航乗務員の訓練審査規程の見直しによる運航乗務員の移行訓練期間を短縮。一時的なパイロット不足時の支援体制を構築。
3.航空機予備部品の共用	関係法令の順守を前提に、補助を受けた ATR 予備部品の AMX/JAC/ORC 間での貸借、また故障した部品の修理契約において等価部品との交換を実現。
4.人材育成・交流	個社では困難な資格養成、技能向上のため、ORC 整備士の ATR 資格者養成、AMX 新入社員の整備士養成訓練、AMX 新規一等航空整備士の資格取得訓練を JAC が鹿児島で実施。
5.訓練施設の共用	JAC 保有のフルフライトシミュレーター、客室モックアップ、実機（ATR）にて各社訓練を実施。
6.安全技術情報の共有	運航品質向上のため、安全、運航および整備部門の技術情報を共有する会議体を設定。

3.事業促進分科会

取組み項目	概要
1.系列を超えたコードシェア	<p>既存提携の枠組みを超えて AMX/ORC/JAC が運航する一部路線にて ANA と JAL が座席を販売するコードシェア（共同運航）を 2022 年 10 月 30 日から開始*1。</p> <p>*1) JAC 運航/ANA 販売（14 路線 44 便）、AMX 運航/ANA 販売（2 路線 8 便）、ORC 運航/JAL 販売（5 路線 22 便）</p>
2.共同プロモーション	地域航空会社の就航地の世界遺産、食、文化/歴史などのテーマに沿った魅力を ANA/JAL 機内誌や各社 SNS 等の媒体を活用して発信。
3.利用促進キャンペーン	コードシェア開始前と開始後のタイミングで ANA/JAL のマイル会員を中心とした顧客に対するコードシェア便の利用促進キャンペーンを実施。
4.商品造成	既存の枠組み内にてダイナミックパッケージ商品（屋久島・天草）の造成・販売。また、地域航空会社の連携により九州離島を巡るアイランドホッピングツアー商品を造成。



4.総務・調達分科会

取組み項目	概要
1.共同調達、間接業務協業に関する検討	各社運営体制に大きな差異があり、また、既存の業務システムの集約には相応の費用と時間を要することが見込まれること、少人数かつマルチタスクで運営されている各種業務の集約による効果は限定的であることから継続課題とし、項目 2.において、引き続き協力協業機会を調整した。
2.総務部門による情報交換、資金・機材調達勉強会他	各社が抱える共通テーマを基軸に具体的な協業（3 社間または 2 社間）に繋げる情報交換、資金調達方法・新機材に係る勉強会を実施。また、公的な支援について各地域の補助制度とその活用状況を共有し、各社で有効的に活用可能な制度の有無を確認。